

# グリーンファイナンスに関する検討会（2021.12～）

- 国際議論の動向、国内施策の進展等を踏まえ、我が国のサステナブルファイナンス市場をさらに健全かつ適切に拡大していくため、グリーンファイナンスに関する検討会を2021年12月に設置。
- ①国際原則の動き、②市場及び国内の政策動向の2つのポイントから、グリーンボンドガイドライン等の各種ガイドラインの見直し等の検討を実施。

## 議論のポイント

### ① 国際原則の動きを踏まえた見直し

ICMAのグリーンボンド原則、LMAのサステナビリティ・リンク・ローン原則の改訂等を受けた外部レビューや目標設定等に関する見直し等

### ② 市場及び国内の政策動向を踏まえた見直し

トランジションファイナンスとの関係整理、グリーンプロジェクトの「明確な環境改善効果」の判断の観点整理、付属書（資金使途、KPI等の例）の見直し等



GreenBond  
Platform

## 開催概要

### 第1回（2021年12月開催）

- ①グリーンファイナンスに関する国内外の動向
- ②検討に当たっての全体的な方針・論点整理

### 第2回検討会（2022年2月開催）

- ①国際原則の改訂を受けた各ガイドライン改訂の方向性整理
- ②サステナビリティ・リンク・ボンドガイドラインの骨子案
- ③その他第1回の議論を踏まえた方向性整理

～市場関係者との意見交換～

（銀行、証券、外部レビュー機関、事業会社及びデータプロバイダー）

### 第3回検討会（2022年3月開催）

- ①各ガイドライン改訂案
- ②サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン案

～パブリックコメント・海外機関への意見照会～

### 第4回検討会（2022年6月開催）

- ①パブリックコメント・海外機関への意見照会の結果及び回答
- ②各ガイドライン改訂案取りまとめ
- ③サステナビリティ・リンク・ボンドガイドライン案取りまとめ

# グリーンボンドガイドライン等の改訂概要（2022年7月）

- 国際議論の動向や国内施策の進展等を踏まえ、2022年7月に、**グリーンボンドガイドライン等の国内ルールの改訂を実施**。
- ICMAを始めとする国際原則と整合しつつ、**グリーン性の判断基準の明確化**や、資金調達者による**市場説明の強化**などを行い、利便性向上とグリーンウォッシュ防止の双方に対応。
- 改訂版ガイドラインを活用し、**「裾野拡大」と「質の担保」**の両面から、**我が国のサステナブルファイナンス市場をさらに健全かつ適切に拡大**していく。

## 改訂のポイント

### 👍 資金調達者の裾野拡大に向けたガイドラインの利便性の向上

- ✓ グリーンプロジェクトにおける「**グリーン性**」の判断の観点の**明確化**
- ✓ 国内における**資金使途、評価指標（KPI）、ネガティブな効果の例について、ポジティブリストとして一覧表の形で整理**

### 👤 資金調達者による市場説明の促進

- ✓ グリーンボンドフレームワーク、外部レビューの実施を資金調達者に対する**重要な推奨項目**として位置付け、実施を推進
- ✓ プロジェクトに付随するネガティブな効果の**特定・緩和・管理に関する市場への説明を推奨**

### 🌐 サステナビリティ・リンク・ボンドの国内向けガイドラインを新規策定

- ✓ 今後大きな拡大が期待される**サステナビリティ・リンク・ボンドのガイドラインを新規策定**

